

図13. 75歳以上高齢運転者による死亡事故件数の推移

滋賀県代協 第17期通常総会を開催

代協会員の代理店がしつかり
お客様との信頼関係を築く

滋賀県代協は5月30日、滋賀県草津市のクサツエスタジオホテルで、第17期通常総会を開催した。開催に先立ち、まず山口会長は次のように挨拶。

「昨年度は、損保業界にとって激震の年だったと思う。今までの業界の信用度が一気に揺らぐ事態や、また元日の能登半島地震、それに伴う津波被害、羽田空港における航空機事故でたくさんの方々が災害に遭われる事態となった。そのため、いつ、どこで起こるか分からない災害に備えて代協会員の代理店がしっかりとお客様との信頼を築いていかなければならぬ」と強調。

また、「代協会員はお客様に、保険を選ぶ前に代理店を選ぶという考え方も、安心安全をお届けすることを念頭に置いて活動しているプロフェッショナルである。いまだに『代協ってどんな活動をしているかわからない』と述べた。



山口氏

さらに、地震保険の推進や、小学生には「ぼうさい探検隊マップコンクール」の応募の推進など、地域の子供を守る取り組みへの参画を述べるとともに、職業賠償である代理店賠償の推進や、代協未加入の代理店への入会を呼びかけた。

そのあと、来賓の日本代協理事の小橋信彦氏、滋賀県損保協会

総会終了後に開催した理事會において、理事任期満了により会長の選任を理事候補の中から慎重協議した結果、出席者全員一致をもって、山口裕貴氏が選任された。

第二部は記念セミナーとして、元日本代協専務理事でHands-Onコンサルティング代表の野元敏昭氏による『代理店の未来を切りひらく』と題した講演会が開催された。